

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 29 年 7 月 25 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	佐藤 侑太郎

1. 派遣国・場所 (○○国、○○地域)
日本、新潟県 笹ヶ峰
2. 研究課題名 (○○の調査、および○○での実験)
笹ヶ峰野外実習
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 29 年 7 月 18 日 ~ 平成 29 年 7 月 21 日 (4 日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (○○大学○○研究所、○○博士/○○動物園、キュレーター、○○氏)
京都大学 高等研究院 松沢哲郎 特別教授 京都大学 野生動物研究センター 幸島司郎 教授、滝澤玲子 特定助教 静岡大学 杉山茂 PWS 特任准教授
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くて結構です。
目的 本出張は、新潟県笹ヶ峰において野外実習を行い、登山やロープワーク、ビバークなど野外活動に必要な基礎技術を習得することを目的に行われた。
概要 7 月 18 日 (火) : 笹ヶ峰へ移動, ヒュッテ周辺の散策 7 月 19 日 (水) : 湊沢踏査、トクサ沢踏査、登山コースの確認 7 月 20 日 (木) : 火打山登山 7 月 21 日 (金) : ロープワーク・ビバーク講習、ヒュッテ清掃、帰宅
所感 初日は、ヒュッテ周辺の散策を行い、道中は周辺に生息する植物や昆虫などについて色々と教えていただいた。中でも、ウルシなどの有毒植物に関するお話は、興味深いだけでなく、今後の野外活動に役立つであろう。植物や昆虫について学ぶ機会はあまりないため、これらに関するお話は非常に新鮮であった。実物を観察することでより知識を深めることができた。 地図の使い方に関するレクチャーは大変勉強になった。地図の折り方やコンパスの使い方など知らないことばかりであった。また、最終日のロープワーク講習では、様々なロープの結び方を学んだ。1 回ですべてを覚えることはできなかったものの、日常生活の中でも応用できそうな内容であり、大変興味深かった。 3 日目の火打山は、天候にも恵まれ、植物や景色などを楽しむことができた。前半は少しペースが早く、ついていけるか不安もあったが、順調に頂上まで登ることができた。所々雪が残っておる箇所もあり、雪の上を歩く場面もあった (図 1)。私の研究対象は飼育下の動物であるため、

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

登山を伴うような過酷なフィールドワークを行う機会はないが、本実習で得られた知識は今後の野外活動に役立つであろう。機会があれば、国内の他の山や海外の山にも登ってみたい。



図 1. 火打山登山道中の景色。雪渓が残っており、美しい眺望を楽しむことができた。

6. その他（特記事項など）

本実習において、京都大学 高等研究院 松沢哲郎 特別教授、京都大学 野生動物研究センター 幸島司郎 教授、滝澤玲子 特定助教、静岡大学 杉山茂 PWS 特任准教授には大変お世話になった。感謝申し上げます。